

試験別必要試料量

試験区分	試験名	試験種別及び適用	必要量	土のう袋 1袋15~20kg	備考
物理試験	物理試験 一式 (密度・含水・粒度・液性・塑性限界)	Φ2mm以上の礫を含まない粘性土、砂質土	500 g	—	
	土粒子の密度試験	Φ4.75mmアンダーの試料質量	30 g	—	
	土の含水試験	最大粒径75.0mm	5 kg	—	
		最大粒径37.5mm	1 kg	—	
		最大粒径19.0mm	150 g	—	
		最大粒径4.75mm	30 g	—	
	土の粒度試験	最大粒径2.0mm	10 g	—	
フルイ0.5kg未満 最大粒径4.75mm以下		500 g	—		
フルイ0.5~1.5kg 最大粒径4.75~9.5mm		500g~1.5kg	—		
フルイ1.5~6.0kg 最大粒径9.5~37.5mm	1.5~6.0kg	—			
土の液性限界・塑性限界試験	Φ0.425mm以下の試料質量	200 g	—		
土の強熱減量試験	Φ2mm以下の試料質量	10 g	—		
力学試験	土の一軸圧縮試験・土の三軸圧縮試験 (不攪乱試料：シンウォール・トリプルサンプリング)	供試体 Φ50mm 3供試体	60 cm	—	最低試料長
		供試体 Φ73~83mm 3供試体	75 cm	—	最低試料長
	土の三軸圧縮試験 (攪乱試料から供試体を再構成する場合) ※供試体密度を設定するため別途(現場密度試験又は土の締固め試験と土粒子の密度試験)が必要	Φ50mm 3供試体 9.5mmアンダーの試料質量	5 kg	1袋	試験粒径以上の礫が含まれる場合は、試験粒径以上の礫の含有量に応じて搬入試料を割り増す。
		Φ100mm 3供試体 19mmアンダーの試料質量	25 kg	2袋	
		Φ150mm 3供試体 37.5mmアンダーの試料質量	70 kg	5袋	
		Φ200mm 3供試体 53mmアンダーの試料質量	150 kg	10袋	
	土の透水試験	Φ100mm 1供試体 19mmアンダーの試料質量	5 kg	1袋	試験粒径以上の礫が含まれる場合は、試験粒径以上の礫の含有量に応じて搬入試料を割り増す。
Φ150mm 1供試体 37.5mmアンダーの試料質量		9 kg	1袋		
安定処理土の配合試験	1試料に対して 3固化材×3配合条件×2材齢(7日,28日)×3供試体=54供試体 配合練混ぜ9バッチ、φ50供試体作製及び一軸圧縮試験	4 本	—	シンウォールサンプリング試料	
		3 本	—	トリプルサンプリング試料	
		40 kg	3袋	攪乱試料	
岩石試験	岩石の密度試験(ノギス法)	任意の寸法の円柱又は直方体	測定必要個数	—	
	岩石の密度試験(浮力法)	任意の形状で50g以上	測定必要個数	—	
	岩石のスレーキング試験	50×50×20mm程度の直方体、Φ50×20mm程度の円柱又は不定形で同体積以上の岩塊	測定必要個数	—	
	岩石の促進スレーキング試験				
	岩石の浸水崩壊試験	50g程度の岩塊	3~5 個	—	
	乾湿繰返しによる岩石の吸水率試験	500g~1kg程度の試験片	測定必要個数	—	
材料試験	土の締固め試験	Φ100mm 6~8モールド 19mmアンダーの試料質量	20 kg	2袋	1供試体2500 g ×6~8で20Kg
		Φ150mm 6~8モールド 37.5mmアンダーの試料質量	48 kg	4袋	1供試体6000 g ×6~8で48Kg
	締固めた土のコーン指数	Φ100mm 1供試体あたり 4.75mmアンダーの試料質量	3 kg	1袋	
		Φ150mm 1供試体あたり 4.75mmアンダーの試料質量	6 kg	1袋	
	設計CBR試験	2供試体~3供試体 37.5mmアンダーの試料質量	18 kg	2袋	1供試体6000 g ×2~3で18Kg
	修正CBR試験	9供試体~12供試体 37.5mmアンダーの試料質量	75 kg	5袋	
	凍上性判定のための凍上試験	JGS試験法 Φ100mm mmアンダーの試料質量	40 kg	3袋	
凍上性判定のための凍上試験	NEXCO試験法 Φ150mm mmアンダーの試料質量	20 kg	2袋		
骨材試験	粗粒土の粒度試験	最大粒径40~75mm	30 kg	2袋	
	礫の密度及び吸水率試験	最大粒径による	最大粒径×0.3 kg	—	例)最大粒径40mmの場合 40×0.3=12kg
		最大粒径80mm以下(最大粒径×0.2 kg)	16 kg	1袋	
		最大粒径40mm以下(最大粒径×0.2 kg)	8 kg	0.5袋	
	骨材のふるい分け試験	最大粒径25mm以下(最大粒径×0.2 kg)	5 kg	0.5袋	
		最大粒径80mm以下(最大粒径×0.2 kg)	16 kg	1袋	
		最大粒径40mm以下(最大粒径×0.2 kg)	8 kg	0.5袋	
		最大粒径25mm以下(最大粒径×0.2 kg)	5 kg	0.5袋	
	骨材の微粒分試験	最大粒径10mm以下(最大粒径×0.2 kg)	2 kg	0.5袋	
		容器容積2L 細骨材 最大粒径mm	10 kg	1袋	
		容器容積10L 粗骨材 最大粒径mm	40 kg	3袋	
	骨材の単位容積質量及び実積率試験	容器容積30L 粗骨材 最大粒径mm	120 kg	8袋	
		細骨材の有機不純物試験	代表的な試料	500 g	—
	骨材の密度及び吸水率試験	最大粒径による	最大粒径×0.2 kg	—	例)最大粒径40mmの場合 40×0.2=8kg
ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験	基本はふるい分け後試料を使用	15 kg	1袋		
硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験		15 kg	1袋		
骨材中に含まれる粘土塊量の試験	最大粒径による	最大粒径×0.2 kg	—	例)最大粒径40mmの場合 40×0.2=8kg	
塩化物含有量試験	代表的な試料	500 g	—		
コンクリート試験	砂防ソイルセメント配合試験	担当者にお問い合わせください	—	—	
	CSG工法配合試験	担当者にお問い合わせください	—	—	
	骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)	細骨材	10 kg	1袋	縮分後試料質量
粗骨材		10 kg	1袋	縮分後試料質量	
化学分析	骨材のアルカリシリカ反応性試験(科学法)	細骨材	1 kg	—	縮分後試料質量
		粗骨材	10 kg	1袋	縮分後試料質量
	細骨材の有機不純物試験	細骨材	500 g	—	縮分後試料質量
	塩化物含有量	細骨材	500 g	—	縮分後試料質量
	pH(H2O、KCl、H2O2)	最大礫径2mm以下	60 g	—	乾燥質量
		最大礫径5mm以下	200 g	—	乾燥質量
		最大礫径10mm以下	300 g	—	乾燥質量
	陽イオン交換容量 (CEC)	風乾細土	50 g	—	
腐植含有量	風乾細土	20 g	—		
リン酸吸収係数	風乾細土	50 g	—		